

第39回全日本少年サッカー大会栃木県大会要項

- 1 目的 本大会は、日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブで逞しい人間の育成を目指し、その研修の場として開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことができるようにサポートする。特に、小学校最高学年の6年生に多くの活躍の場を提供し、ジュニア年代の幅広いスキルアップを図る。また、子どもたちや周囲の大人がスポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう文化として醸成していくことを目指す。
- 2 主催 (公財)日本サッカー協会 (公財)日本体育協会日本スポーツ少年団 読売新聞社
- 3 主管 (公社)栃木県サッカー協会 栃木県少年サッカー連盟
- 4 後援 日本テレビ放送網 報知新聞社 栃木県教育委員会 栃木県市町サッカー協会
- 5 特別協賛 YKK 花王
- 6 協賛 日清オイリオグループ 日本マクドナルド ゼビオ ゆうちょ銀行
- 7 協力 モルテン
- 8 期日 平成27年11月3日(火)・8日(日)・15日(日) 予備日7日・14日
- 9 会場 栃木県グリーンスタジアム 県内7地区のグラウンド 他
- 10 資格

(1) 団体	①大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体
(2) チーム	①本大会地区予選に上記1団体から1チームのみの参加の場合は、正式に登録された監督・選手と大会登録のコーチ・帯同審判員で構成されたチームとする。 ②本大会地区予選に上記1団体から複数チームが参加する場合は、1チームは①の条件を満たすものとし、2チーム目からは正式に登録された選手と大会登録の監督・コーチ・帯同審判員で構成されたチームとする。
(3) 選手	①上記団体(チーム)に所属する選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を有するもの。 ②追加登録選手は、本連盟の定める正規の手続きで追加登録を完了したもの。 ③移籍選手は、本連盟の定める正規の手続きで移籍の承認を受けたもの。
(4) 帯同審判員	①帯同審判員は5名以内。3・4級審判は平成26年12月以降に実施された本連盟主催の研修会を受講していること。その他、特例の者。
(5) エキップ	①試合当日にユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に、副として正と異なる色のユニフォームを有すること。

11 参加チーム

県大会出場枠は、64チームとし、以下の通りとする。
各地域の前期リーグ・後期リーグの成績により、県大会出場チームを決定する。
北那須地区(10) 塩谷・南那須地区(7) 宇河地区(13)
上都賀地区(7) 芳賀地区(7) 下都賀地区(13) 両毛地区(7)

12 チームの構成人数と条件

- チーム構成は、代表者1名・監督1名・コーチ2名以内・選手20名以内とする
(但し、全日本少年サッカー大会は引率者2名・選手16名以内)
- (1)大会に参加する選手は、スポーツ安全保険に必ず加入していること。
(2)大会における選手の傷害等の補償は、スポーツ安全保険の範囲内のみで、主催者は一切負わないものとする。
(3)大会に参加する選手は必ず保護者の承諾を得ていること。
(4)D級以上のライセンスを取得している監督及びコーチのみ、ベンチ入りを認める。但し、代表者はこの限りでない。(D級ライセンス取得者は、D級コーチリフレッシュ研修会を受講していること)
(5)6年生の参加の機会を確保する目的で、下記の条件を満たす場合に限り、1団体から最大2チームの参加を認める。
①6年生が16名以上加盟登録されていること。
②1チーム内に8名以上の6年生を有すること。
③監督、コーチ、帯同審判員は、チーム別に登録すること。
④その他、本大会の参加資格を満たしていること。

13 競技規則 大会実施年度公益財団法人日本サッカー協会制定の競技規則による。但し、以下の項目については特に少年用として大会規定に定める。

- (1)競技人数 8人制
(2)競技時間 40分(前・後半20分)とする。インターバル5分とする。
但し、トーナメント戦において勝敗が決しない場合は、PK方式(3人)により次戦への進出チームを決定する。決勝戦においては、10分の延長(前・後半5分)を行い、なお決しない場合は、PK方式(3人)により優勝を決定する。
(3)競技場
・芝、クレー(土)のグラウンドを使用する。 ・長方形で68m×50mを原則とする。

- ・ペナルティーエリア 12m
- ・ゴールエリア 4m
- ・センターサークル 半径7m
- ・ペナルティーマーク 8m
- (4) ゴール 5m×2.15mの少年用ゴール
- (5) 使用球 4号球(公認球)
- (6) キックオフからのゴールインは得点と認めず、相手のゴールキックで再開する。
- (7) フリーキック、コーナーキックのとき、相手選手は7m離れる。
- (8) 選手交代は試合前に登録した12名までの自由な交代を適用する。
- (9) 反則により警告の累積が2回及び退場した選手は、次の1試合出場停止。なお、その場合、交代選手の中から補充は認めない。
- (10) 退席処分になった監督・コーチは次の1試合ベンチ入りできない。

14 競技方法

- (1) トーナメント戦方式
- (2) 1回戦では、同一地区は当たらない。

- 15 表彰
- | | |
|-------------|-----------------|
| 優勝 | 表彰状、カップ、優勝旗、メダル |
| 準優勝 | 表彰状、カップ、メダル |
| 3位(2チーム) | 表彰状、カップ |
| フェアプレー賞 | 表彰状、トロフィー |
| 敢闘賞 | 表彰状、トロフィー |
| 努力賞(2チーム) | 表彰状、トロフィー |
| 優秀選手(20名以内) | 表彰状、メダル |

16 代表権

優勝チームを、全日本少年サッカー大会の栃木県代表に推薦する。

17 参加申し込み 平成27年10月8日(木) 各地区理事まで

18 参加料 大会参加費 15,000円(プログラム15部を含む)

19 監督者会議

(1) 期日 平成27年10月18日(日)

(2) 会場 とちぎ健康の森(予定)

※監督会議には大会に登録した監督が出席すること。(監督証持参)

特別な事情(冠婚葬祭・仕事・学校行事等)で監督が出席できない場合、①コーチ、②代表の順位で代理出席を認める。この場合、必ず事前に地区理事に連絡し、承諾を得ていること。また、監督会議当日に、地区理事へ「委任状(所定の書式)」を必ず提出すること。

20 閉会式

平成27年11月15日(日) 決勝戦終了後 栃木県グリーンスタジアム

21 確認事項

- (1) 本大会に参加できる選手は、地域リーグ戦参加申込書に記載された選手のみとする。
- (2) 参加申込書作成の留意事項。
 - ・参加選手の氏名、登録番号を正しく記入。参加申込書送付後は選手変更を認めない。
 - ・ユニフォームは参加申込書に記入したものを原則として、参加申込書送付後は変更を認めない。背番号の変更も認めない。
 - ・代表、監督、コーチ、審判、選手に未記入や誤記のあった場合には、該当者のベンチ入りや出場を認めない。
- (3) 大会当日、各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会の発行する選手証(写真を貼付したもの)または電子登録証の写し(写真が登録されたもの)を持参すること。選手証または電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。各チームの監督は、監督証を必ず持参すること。ベンチ入りする監督及びコーチは、下記ライセンス証及び講習会受講済みのカードを持参すること。
 - 監督及びコーチがベンチ入りする際には、ライセンス証のチェックを行う。
 - ・C級以上のライセンス取得者・・・「公認指導者ライセンス認定証」の提示
 - ・D級ライセンス取得者・・・栃木県少年サッカー連盟発行の講習会受講済みのカードの提示
 - ※監督証及びライセンス証(含むカード)は、首から提げる形で携帯すること。
 なお、大会当日にライセンス有資格者が不在となる場合は、事前に地区理事へ連絡を入れること。
- (4) 以下に該当するチームは不戦敗(没収試合)とする。
 - ・色の異なる正副2着のユニフォームを用意できない場合
 - ・試合開始時、選手6名未満及び棄権の場合
 - ・試合開始時刻に30分以上遅れた場合
- (5) その他、「暴力・暴言根絶・プレーヤーズファーストを中心に考えて」を遵守すること。
- (6) 大会当日第1試合開始40分前に、各会場で監督・審判打ち合わせを行う。

大会事務局 連絡先	栃木県少年サッカー連盟総務委員会 総務委員会 委員長 嶋村政樹 〒329-2723 那須塩原市南町4-8 電話・FAX 0287-36-6324 携 帯 090-4925-9496
--------------	--